

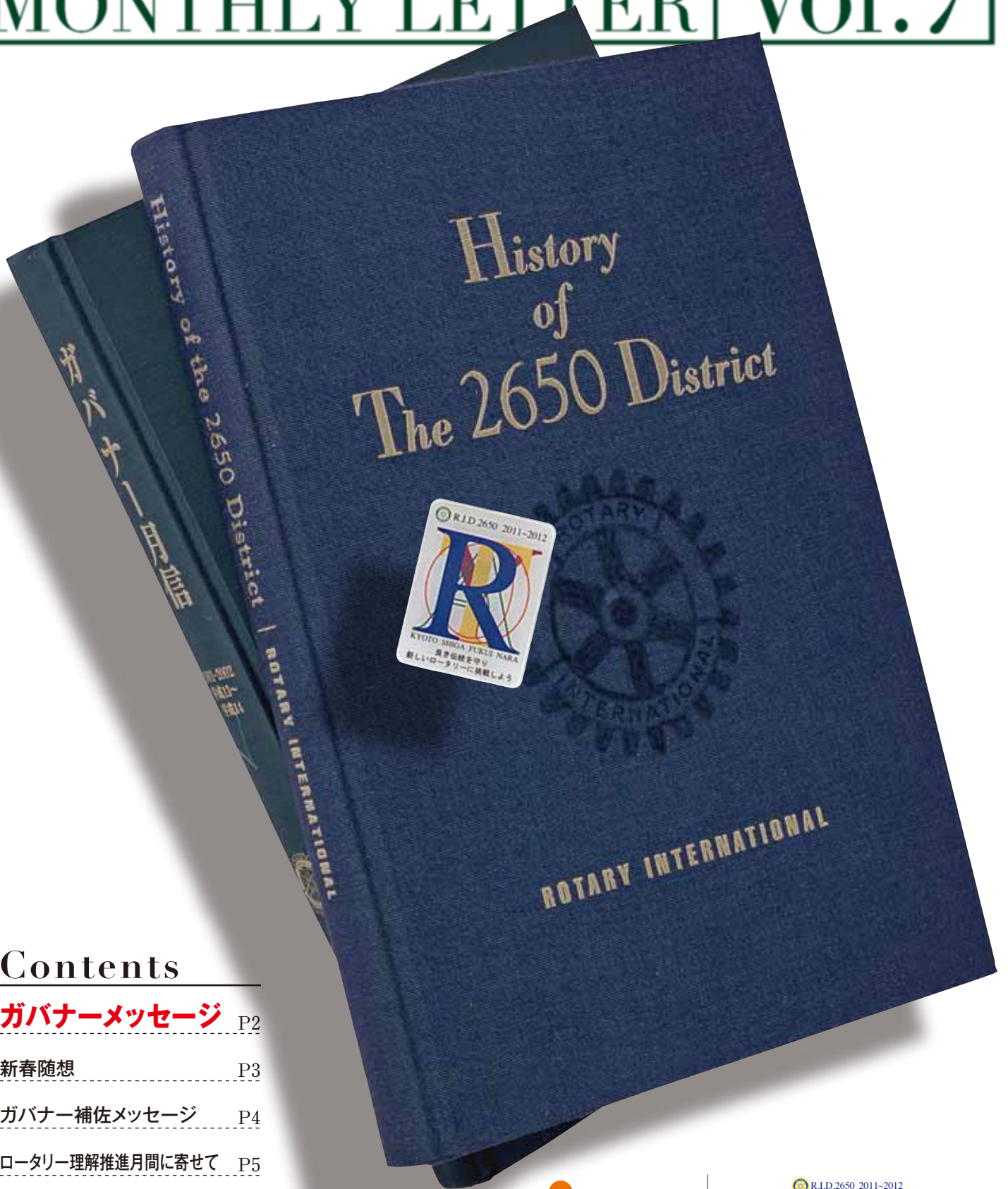
2011~2012 年度 国際ロータリー第 2650 地区

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

ガバナー月信

2012.01.01

Vol.7



Contents

ガバナーメッセージ	P2
新春随想	P3
ガバナー補佐メッセージ	P4
ロータリー理解推進月間に寄せて	P5
京都北部 IM第2組開催報告	P6
会員数の増減及び出席率表	P7
会員の動き	P8



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

R.I.D.2650 2011~2012



KYOTO SHIGA FUKUI NARA
良き伝統を守り、新しいロータリーに挑戦しよう

R.I.D.2650 2011-2012



良き伝統を守り、新しいロータリーに挑戦しよう

from GOVERNOR

「年頭所感」



2011～2012年度 第2650地区ガバナー 今西 信裕（京都南ロータリークラブ）

明けましておめでとうございます。皆様方におかれましては、ご家族ともどもお健やかに新年を迎えられたことと心よりお慶び申し上げます。

昨年はまさに天変地異の激動の年でした。3月11日に発生した東日本大震災と津波は甚大な被害をもたらし、同時発生の原子力発電の事故によりその安全神話が崩壊し、大変な放射能による被害を与えました。また、長雨と台風12号被害による奈良、和歌山の災害や、世界でもトルコの地震やタイの水害による被害のすごさに、何か神様の怒りが一気に爆発したような、空恐ろしさを感じました。地球は本当に大丈夫かと思うほどです。一方世界経済でも何か、どこか間違っているのではないかと感じられるような、一向に人々の生活に余裕と安定感の出ない不況感がただよっていて、社会がギスギスして豊かさが感じられません。

このように厳しい社会状況の中で、今、ロータリアンには人間らしい心を持って世界平和のために活動することが求められています。そのためには人類愛が不可欠です。この度の東日本大震災時に日本人が自然と示した、人類愛、人間性の豊かさ、助け合いの心、秩序維持、どれも大変素晴らしい日本人の本来の姿がそこに現れています。人と人との絆がそこにあります。仏教の教えに「四無量心」つまり、慈・悲・喜・捨の心があります。慈とは慈しみ、深い友情をもって万人に楽を与え、悲は万人とともに悲しみを分かち合い、喜は万人ともに喜び合い、捨は心が私情によって乱されず、平静、無私、平等であることです。この心でロータリーの究極の目的である「人道的な世界平和」に向かって活動いたしましょう。日本人は本来そのリーダーになれる資格を十分持っていると思います。

私は7月6日福井北RCからスタートし、京都南RCを最後に97クラブの公式訪問を無事完了いたしました。各クラブの温かい歓迎やご協力、励ましのお言葉により癒されながら、元気に順調に進めさせていただきました。それぞれのクラブの会長・幹事様を始め、会員の皆様にご心より感謝申し上げます。それ

ぞれのクラブに直接訪問させていただくことによって、その地域性、特徴、クラブの歴史、伝統、文化や、会員の方々に自分の目で接し、触れることによって、色々なことを教えていただくとともに、勉強させていただきました。本当に良い貴重な経験をさせていただいたことに心より感謝いたしております。私は各クラブで①長期戦略計画の作成②RLI参加によるクラブでリーダーになれる人の養成やロータリー哲学の理解を深めること③会員増強・全会員参加の下での推進④ロータリアン各自が未来のロータリーへの責任を果たそう・未来志向の考え方を持つことについて等、各クラブの皆様へのご協力をお願いいたしてまいりました。それぞれのクラブが力いっぱい前向きに、クラブを良くしよう、変えていこうという意欲と努力を肌で感じ、大変心強いものを持ちました。

私は間違いなく我がRI第2650地区は、輝かしい未来に向かって進めると自信を持つことができました。当地区には本当に人類愛に満ちた素晴らしいロータリアンが多数いらっしゃることを再発見し、まさしく我が地区の財産であると確信を深めました。人は時代に支えられ、またその人が時代を作っていますが、これからロータリーも時代とともに変化していかなければ強く生き延びられません。ロータリーは奉仕の理想への実践哲学と言われていています。奉仕には感動が求められ、その感動が人類を癒し、奉仕をさせていただく喜びを感じ、ロータリアンを奉仕に向かわせます。

年の始めにあたり、もう一度生きる価値を確認して、自分自身を磨き、勇気・未来へのビジョン・自信を持って、それを慈愛と博愛の心で包んで「人道的な世界平和」の実現に向かって、価値ある人生を歩みたいと願っております。本年度皆様とともに最善の努力をして、人類愛に満ちた世界平和を目指し、奉仕の理想を実行し、ロータリーを楽しみ、エンジョイいたしましょう。この1年の皆様のご活躍を心から願っております。

このことが本年度RI会長テーマ「こころの中を見つめよう博愛を広げるために」の実行です。

かん きゃく か
「看脚下」

from SPECIAL ADVISER

茶道裏千家第15代・前家元
国際ロータリー元理事
国際ロータリー第2650地区特別顧問 千玄室
(京都ロータリークラブ)



平成24年 壬辰歳の新年をお健やかに迎えのことに存じます。

過ぐる年は、3月11日に発生した東日本大震災により三陸海岸大津波、さらには福島原発事故など未曾有の大災害により多くの人命が失われ、また家や仕事場など生活の基盤を全て失った人も多く、その復旧、復興の目途もついていない今、新春を寿ぐ言葉も表せないという心境にあります。

また秋にはタイ国でも未曾有の大洪水など天変地異が相次ぎ、我々の住む地球は一体どうなったのだろうか、不安な思いがいつまでも去らない毎日を過しておられることに存じます。これら災害の発生に対して、我々ロータリアンはどのように対処して来たでしょうか。ロータリアンとして被災者の状況に即応できたでしょうか。

勿論、即現地へ入りボランティアとして奉仕の働きをした人も多く居られたことは存じています。しかし大半のロータリアンは為すすべもなく、唯、義捐金を出すことによって、自分の気持ちを表そうという方が多かったのでしょう。災害発生から3~4ヶ月の間に全国ロータリアンから10億円を越える義捐金が集ったことは、流石ロータリアンと言えるのではないのでしょうか。

1923年関東大震災が発生した時、東京ロータリークラブが創立されてわずか5年を経た時期でありましたが、アメリカを中心とする世界のロータリアンは多くの救援の手を差し伸べてくれたと聞いています。

ロータリーでは当時から、災害等の発生に対しては、人道的立場に於いて奉仕活動を実行することが一つの眼目とされていたのです。

支援する人は、被災した人の立場に立って物事を判断し、事柄に対して即応することが望まれています。果して今回の災害の場合、如何だったのでしょうか。ロータリアンとして相手の立場に立って奉仕することは正に“超我の奉仕”

の実践であると言えるのです。

禅寺へ行くと入口によく「照顧脚下」とか「看脚下」と書かれた木札が置かれていることに気づかれることと思います。それは、「足もとに注意して下さい」との意ですが、中国の臨済宗中興の祖と仰がれる五祖法演師が三人の弟子達と夜の会合に出て、いざ帰るときになって灯火が尽きて、周囲が暗闇になりました。すかさず師は三人の弟子に向けて「さあどうするか」と各々の見解を示せと迫ったのに対して、一人の弟子が答えたのが「看脚下」でありました。「自分の足下をしっかりと見つめること」禅の極意は、何か特別に他の方法を遠くに求めるものではなく、日常の一挙手一投足を大事にしようということにもつながります。

この十数年、日本のロータリアンは減少の一途を辿り、中々回復の兆しも見えませんが、これに対する妙案はありません。唯言えるのは、「看脚下」ということでもあります。

一人一人のロータリアンが、一つ一つのクラブが、今何を為すべきかを各々で考え、各々の足下を見つめて前向きな姿勢で一歩一歩前進することであると思います。

此の年、メンバー一人一人がまた一つ一つのクラブが、もう一度、それぞれの通常活動を見つめて、ロータリアンとしてまたクラブとしてやるべきことを着々とすすめて行かれることを願っている次第であります。

祈平安



「今こそ高潔性を求められる時」

滋賀第二担当
ガバナー補佐 松村 善作
(近江八幡ロータリークラブ)



from ASSISTANT GOVERNOR

今西信裕ガバナーは今年度RIの長期戦略計画に基づいて、地区の運営方針をたてられました。7つの運営方針の中で「長期計画の中核となる価値観」(奉仕、親睦、多様性、高潔性、リーダーシップ)ロータリーのDNAを行動で協調すると言われました。

私はこの5つのロータリーのDNAの中で「高潔性」を取り上げ考えてみたいと思います。「高潔性」とはすべてが真実であり、気高く、けがれないことであります。

真実を求め、今こそすべてのロータリー活動に高潔性を問われている時ではないでしょうか。今、日本は東日本大震災発生以後、東日本の復興、原発問題、TPP参加問題、社会保障、幾つもの大きな課題をどのように解決して行くのか、諸問題解決のため経済は低迷を続け我々にとって大ピンチであります。

ここで「高潔性」を一番追及してきた近江商人について書きたいと思います。近江商人の「三方よし」の精神、「売手よし」「買手よし」「世間よし」。最近この「三方よし」の精神があらためて脚光を浴びています。不況だからでしょうか。まさしく近江商人の神髄であると思います。近江商人には滋賀県の幾つかの市、町の出身者がおられますが、特に近江商人の中でも人物、企業を多く輩出したのは近江八幡であります。

ここで今年創業445年をむかえられた「ふとんの西川」を紹介したいと思います。今から445年前といえば織田信長、豊臣秀吉の時代であります。現在は14代、西川甚五郎さんが西川の当主として引き継がれておられます。これ程長い年月続けられている企業は、日本では大変珍しいそうあります。

今から350年前、すでに勘定書が保存されるようになり、今もその莫大な帳簿類が資料館に保存されています。当時すでに現在の近代経営が行われていたこととなります。

七代目利助(1771年)は中興の人であるといわれ、創業以来220年間の経過した時に、今までの制度を改革されま

した。その一つは積立金制度、利益の一部を普請金、仏事金、用意金、三つに区分したこの制度の目的は火事による類焼の際の再建資金として備えられたのであります。保険会社と被保険者との二役を同時に行おうとしたのであります。二つ目は「三ツ割銀制度」(1789年)利益配分を三等分し、その一つを奉公人に配分することにされました。三つ目の改革は、奉公人に分家の資格を与える別家制度を定めたのであります。利益配分、別家制度は奉公人の出精意欲を増加させるものであります。後に三ツ割銀配当を本店で預かり、利子をつける制度もつくられました。以上代表される三つの制度について書きましたが、すべての資料を書きつくすことは出来ません。

さて、不安定な社会情勢は、今すぐに改善されるとは思われません。西川創業以来、制度の改革、社員の待遇の改善といろいろ改善を重ねてこられたことが今日を築かれたと思います。西川(老舗)の数百年前にすでに企業としての改革、改善をされていたことを紹介いたしました。長い不況は企業の不安定と不安が続いているのが現状であります。

今こそ企業のコンプライアンスが叫ばれ、今こそ高潔性を求められている時だと思えます。

地区長期ビジョン

— ビジョン —

私たちは世界中の地域社会における
人びとの生活改善に貢献するため、活発で
行動力のあるクラブから成り、人々から選ばれる奉仕組織である

標語: 超我の奉仕

中核となる価値観: 奉仕、親睦、多様性、高潔性、リーダーシップ

国際ロータリー第2650地区2011～2012年度
地区協議会冊子 地区長期ビジョンより

「退会防止は例会から」

from DISTRICT CHAIRMAN

ロータリー情報委員会
委員長 土井 誠賢
(高島ロータリークラブ)



1月はロータリー理解推進月間です。

今西ガバナーが示された地区スローガンは「良き伝統を守り、新しいロータリーに挑戦しよう」であります。当地区には諸先輩の素晴らしい歴史と伝統と実績があります。又クラブの長期計画の下、未来へつなげるクラブの活性化を目指すことが新しいロータリーに挑戦するということでもあります。

今年度の当委員会の活動としましては、昨年に引き続き三委員会合同クラブ委員長会議を開催し、ロータリーの啓蒙と情報交換、提供に努めて来ました。

三合同委員長会議の目的は、年々会員数の減少傾向が続き歯止めがかからず、純減150名を続けており危機的な状況であることから、三委員会の役割を生かし、減少に歯止めをかけ、会員の増強を図るという趣旨であります。当然のことですが、退会防止と会員増強についての議論が中心で、本来のロータリー情報の交換が出来なかったことでクラブ委員長さんには不満が残ったと思いますが、退会防止と会員増強が最重要課題であると御理解を賜りたいと思います。会員増強はクラブの活性化、永続的な発展の為に必須の条件でもあります。

ロータリー情報委員の役割は次の様な事が言えると思います。

- ①全会員、特に新会員がロータリーを十分理解し、ロータリー会員の特典と責務を把握できる様に援助する。
- ②ロータリアン個人の知識を増幅させる様なプログラムを以下4項目について持つべきであります。
 - 1) 会員基盤を維持拡大する。
 - 2) 成果ある奉仕プロジェクトを実施する。
 - 3) ロータリー財団を支援する。
 - 4) クラブレベルを越えた指導者を育成する。

当委員会は幅広く調整する責務を持っています。

もう1つ大きな役割は会員増強に取り組むことでもあります。会員増強には退会防止が不可欠であります。毎年入会する人より退会者が多いということからまず退会防止に努めなければならないと思います。退会を申し出た会員に退会を留意しても遅いと考えるべきで、退会しようと思わない魅力あるクラブ運営活動が大切であります。

その為には楽しい例会づくり、ロータリアン同士の親睦、友情、ロータリー活動への感動が大切であろうと思います。

例会出席の意義を改めて考えて見ますと、まず例会出席は会員身分を保証する条件であること、ロータリーライフにおける親睦の第一歩は例会に出席することから始まります。

100%出席を目指すべきである。例会の目的は職業上の発想の交換を通じて、分かち合いの精神による事業の永続性を学び、友情を深め自己改善を図ることにある。自己改善は終生続けられなければなりませんからロータリアンには定年がありません。又、ロータリー運動にも終結もありません。例会運営にあたっては、限られた時間の中で如何に有益な情報を効果的に提供するかを考えねばなりません。ロータリー運動の質を高め会員の心に深い感銘を与える内容であってこそ初めて例会出席の意義が満たされると思います。

最後に今年度2回目のアンケート調査(ロータリーの現状と未来、ロータリアンの心に問う)を新たな質問を加えて実施しました。地区ロータリアンの全面的な御協力を頂きまして取りまとめることが出来ました。有り難うございました。

各IM別、前回調査結果との比較等を冊子にして各クラブ様へお届けしたいと思っております。クラブ運営にお役立てください。

土井 誠賢(どい せいけん) ロータリー歴

1987年1月7日	高島ロータリークラブ入会
1992年～1999年	広報、S・A・A、職業奉仕、社会奉仕、青少年、各委員長
1999年～2000年	幹事
2002年～2003年	会長エレクト
2003年～2004年	会長
2008年～2009年	地区ロータリー情報委員
2009年～2010年	地区ロータリー情報委員副委員長
2010年～2012年	地区ロータリー情報委員委員長

IM第2組 「クラブの活性化と会員増強」

IM第2組実行委員会
委員長 武田 董
(綾部ロータリークラブ)



国際ロータリー第2650地区インターシティーミーティングを綾部ロータリークラブのホストにて開催致しました。パストガバナーを始め、地区役員の皆様、京都北部7クラブの皆様の多数のご登録・ご参加をいただき有難うございました。

開催に当たりましてはまず、2011年1月13日に第1回の打ち合せをいただき、日程(結果は会場の都合で変更を余儀なくする。)、テーマ並びにゼネラルリーダーを富田謙三パストガバナーにお願いすることを決定。5月30日には富田ゼネラルリーダー、大西ガバナー補佐のご指導を得て、基調講演・フォーラムの内容について協議し、その方向を決定。8月20日には第3組IM会場に赴き、富田ゼネラルリーダーのもと、講師の武田敏夫様、コーディネーターの杉本直様と打ち合せをいただき、テーマ及びサブテーマの決定をみた。

基調講演はテーマ「クラブの活性化と会員増強」のもと講師武田敏夫様(京都伏見ロータリークラブ、本年度第3組IM実行委員長)によりご講演いただいた。

会員減少の原因は、経済的理由、会員の高齢化、クラブ内の人間関係、クラブに魅力がなくなっているからではないか。とりわけ、若者から魅力を感じられていないのではないかなど色々考えられるのご指摘をいただいた。そして、会員増強に必要なものは、その年度の会長の増強に対する熱心さ!であり、その熱意が会員の増強活動を促し、同時に先方の心を動かすことになる。また、会長の熱意が得られない年は入会者も少ない。退会者を出さないためには先輩会員が魅力的であることが要件である。更にロータリークラブは今、会費に見合う対価を提供していないのではないかな。若い世代に魅力のあるロータリー活動を考える時である。といった味わいの深い内容のご講演をいただいた。

フォーラムは杉本直様(京都伏見ロータリークラブ、地区会員増強・拡大委員長)をコーディネーターに、京都北部7クラブの直前会長をパネリストに迎え開催しました。

パネリストの多くは、会員減少に歯止めを、会員増強をと口では言うけれど現実には難しいこと。新入会員候補との交渉経過を含めたりリストを保存し、増強活動に継続性を持たせること。同好会などを作り、会員の交流を深めるなど。また、綾部ロータリークラブから新しい試みとして、市民に

門戸を開いた公開例会の実施例が発表され、多くの市民の参加を得たこと、これが会員増強の支援策になることを願って今年の継続事業としているなどの様々な意見が続出。それを踏まえ、杉本コーディネーターの正によりコーディネートで有意義に終了した。

基調講演の講師であります武田敏夫様におかれましては、誠にありがとうございました。

コーディネーターの杉本直様、時間・スピーチのよきご調整、誠にありがとうございました。

ゼネラルリーダーの富田謙三様、温かいご講評をありがとうございました。ガバナーの今西信裕様、過分なるご講評をいただき誠にありがとうございました。

「京 綾部ホテル」で開催しましたIM懇親会は、綾部ロータリーアクトクラブとその指導チームの乱れ組による歓迎の呼び込み太鼓で皆様に入場いただき、大西省司ガバナー補佐開会のご挨拶、中野重宏パストガバナーによる乾杯のご発声のもと、和やかな酒宴・歓談の場となり、楽しいひとときをお過ごしいただきました。



インターシティーミーティング



富田謙三ゼネラルリーダー



今西信裕ガバナー



武田 敏夫氏



■お悔やみ

1995～1996年度第2650地区ガバナーの坂部慶夫様(京都洛中RC)が10月26日87歳をもってご逝去されました。
謹んでお悔やみ申し上げます。

職歴

1952年～1955年 米国留学 シカゴ市イリノイ大学教育病院
1956年～1964年 淀川キリスト教病院 外科部長兼医務部長
1961年 医学博士の学位受領
1961年～1976年 京都府立医科大学 客員講師
1964年～2008年 医療法人 坂部医院 理事長 院長(内科・外科・麻酔科)
2008年～2011年10月 医療法人 坂部医院 名誉院長

ロータリー歴

1980年4月26日	京都洛中ロータリークラブ入会 チャーターメンバー(キーメン)
1980年～1981年	同理事(クラブ奉仕)
1981年～1982年	同副会長
1982年～1983年	同会長
1983年9月	ポール・ハリス・フェロー
1990年12月	米山功労者
1993年6月	マルチプル・ポール・ハリス・フェロー
1995年6月	ベネファクター
1995年～1996年	第2650地区ガバナー
2007年～2008年	(財)ロータリー米山記念奨学会副理事長
2008年～2009年	同理事
2009年～2010年	同理事

10月 国際ロータリー第2650地区 2011～2012年度 会員の動き

10月入会者一覧

クラブ名	氏名	職業分類
福井	水田 基	公共放送
福井フェニックス	田島 修一	婦人服販売
草津	上杉 幹裕	情報通信
大津	尼田 賢光	鉄道運輸
大津西	池見 喜八郎	日本旅館
長浜東	川瀬 努	建築設備
長浜東	木村 元	燃料販売
彦根南	今村 英二	輸入車ディーラー
京都	福島 節雄	ホテル
京都嵯峨野	田端 哲夫	経営コンサルタント

10月退会者一覧

クラブ名	氏名
福井北	中谷 寿磨
大津中央	羽田 慎二
大津中央	村田 和夫
大津中央	馬杉 実
京都西	中村 尚司
京都	津田 武雄
敦賀	坂本 俊夫
京都八幡	上谷 耕造
檀原	東埜 正広

※退会者京都RC津田武雄氏は名誉会員への移行です。

10月ご逝去会員

謹んでお悔やみ申し上げます

クラブ名	氏名	日付・年齢
京都	松尾 裕	10月 2日 ご逝去 享年82歳
京都東山	中川 正文	10月13日 ご逝去 享年91歳
桜井	近藤 達司	10月16日 ご逝去 享年63歳
京都東	田中 周二	10月23日 ご逝去 享年86歳
檀原	辻村 拓夫	10月26日 ご逝去 享年65歳
京都洛中	坂部 慶夫	10月26日 ご逝去 享年87歳



■国際ロータリー第2650地区 ホームページの紹介

第2650地区のホームページが新しくなりました。各地区委員会活動の報告や各クラブからの事業報告等、様々なメッセージ等を掲載しております。是非ご覧になってください。

第2650地区のホームページ

<http://www.rid2650.gr.jp/>



Kyoto/Fukui/Shiga/Nara

R.I.D.2650

2011-2012

国際ロータリー第2650地区

2011-2012年度 ガバナー 今西信裕

■ガバナー事務所

〒600-8216 京都市下京区塩小路通烏丸西入東小路町614番地新京都センタービル5階520号室
TEL.075-343-2650 FAX.075-343-2651 E-mail:gov2011-12@rid2650.gr.jp